

原子力リスク研究センター（NRRC） 第14回 技術会議 議事録

1. 日 時：2017年2月3日（金）10：30～12：10
2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）
主査：横尾（NRRC）
委員：榎（北海道電力）、小保内（東北電力；加藤代理）、
五十嵐・川村（東京電力）、増田・中川・名倉（中部電力）、
高橋（北陸電力）、鈴木・大石・浦田（関西電力；吉原代理）、
岩崎（中国電力）、川西（四国電力）、石坂（日本原電）、
小玉（日本原燃；岡村代理）、鞍本（電源開発）、
河村（東芝；野田代理）、丸末（日立 GE；今野代理）、
高橋（三菱重工；河野代理）、倉田（原安進）、
高橋・示野・座間・酒井・植田・山本（NRRC）
オブザーバー：尾本（NRRC）

4. 議事概要

(1) 研究トピックスについて

○NRRC より、以下の3項目について報告がなされた

- ・火災 PRA に関する米国の状況
- ・津波 PRA 手法開発の進め方
- ・断層変位評価に関する研究計画

（外部委員からの主なコメント）

<津波 PRA プロジェクト>

- ◆津波 PRA プロジェクトについて、計画の中身が相当具体化されてきたように思う。併せて、非常に多くの要素技術が関係するため、どの要素技術が現在十分または不十分であり、いつまでに使えるようになるかという整理をすると、さらに分かりやすくなると思う。

(2) NRRCの活動状況について

○NRRCより、伊方3号機PRAパイロットプロジェクトのエキスパートレビューの状況について資料に基づき報告がなされた。

(外部委員からの主なコメント)

- ◆非常に意義のある取り組みだと思うので、ぜひ続けてもらいたい。このレビューを通じて国際的なステートオブプラクティスを把握できることを期待している。

以上